事業名	夏休みの居場所事業

セールスポイント	・夏休み期間中、区民ひろばを活用して子どもが安心して過ごせる「身近な居場所」を創出する ・中高生が気軽に利用できる自習室を複数の区民ひろばに展開する ・無料・申し込み不要で、ダンスやけん玉など、複数のアーバンスポーツが体験可能

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

・少子化が進む一方で、共働き世帯やひとり親世帯の増加により、長期休み期間中の子どもの居場所の確保は地域にとって重要な課題となっている。特に、夏休みは学校が長期間休校となるため、子どもたちが安心して過ごせる「身近な居場所」の必要性が高まっている。

・こうした状況を踏まえ、夏休みの居場所として、中高生を中心に誰もが気軽に利用できる自習室を複数の区民ひろばで開放するとともに、区民ひろばという小スペースでも実施可能なスポーツ体験を模索。

・区ではToshima Street Fesなど、アーバンスポーツに注力しており、区民ひろば内でもこれまでできなかったアーバンスポーツ体験会を実施することとした。

2. 目的

・夏休み期間中、区民ひろばを活用して子どもが安心して過ごせる「身近な居場所」を創出し、中高生が気軽に利用できる自習室の設置、アーバンスポーツ体験を通じて、運動機会の確保・新たな文化・スポーツの体験活動の機会提供・自己肯定感の向上・地域とのつながりを育むことを目的とする。

3. 内容

・夏休み期間中に区民ひろばで自習室の開放、特別企画としてアーバンスポーツ体験会を実施する。
・夏休みの猛暑対策として屋内で実施する。
・区内の地域差をなくし、できるだけ多くの子どもが身近な区民ひろばで参加できるよう、5か所で開催予定。
・ダンス、けん玉、スラックレールなど、会場の規模に合わせて複数種目を体験可能。
・料金無料・申し込み不要とする。

4. 今後のスケジュール

・令和8年7月上旬　日程公開
・夏休み期間中　実施(日程未定)

事 業 費	45万5千円	うち新拡分事業費	45 万5千円